

いまこそ 応援!

東北復興イベント

- 知って、食べて、考える、被災地のこれから -

2017年8月24日THU / 25日FRI

会場 品川シーズンテラス(東京都港区港南 1-2-70) 各会場

シンポジウム

「いまこそ考える! 東北復興のためにできること
～交流人口の拡大に向けたアクション～」

被災地産品直売会

水産加工品をはじめとした被災地産品直売コーナー

パネル展

「3.11から6年～被災地の今」/「被災地における丹青社のアクション」



JR 品川駅 港南口より徒歩 6分

主催 (株)丹青社 / 後援 復興庁 宮古市

Tanseisha



東日本大震災から6年、被災地の今を知って、食べて、考える2日間！

「いまこそ応援！東北復興イベント～知って、食べて、考える、被災地のこれから～」を開催します。

イベントプログラム

被災地産品直売会

2017年8月24日(木)・25日(金)11:00-19:00

品川シーズンテラス 1F エコ広場

1階エコ広場では、水産加工品をはじめとした被災地産品コーナーを設置し、販売を通じて復興応援いたします。知っていただき、食べていただき、家族や友人など身近な人とともに考えるきっかけを食卓にお持ち帰りいただけます。

※販売商品は予告なく変更する場合があります。

宮城ふるさとプラザ

「牛たん」「ずんだ」をはじめとする「食材王国みやぎ」の自慢の特産品や、宮城を代表する銘菓を販売します。



いしのまき元気いちば

水産加工品をはじめとする石巻・三陸ブランドをまるごとみなさまにお届けします。



いわてマリンフィールド

東日本大震災で被災したヨットのセーラーをリサイクルしたトートバッグやキーホルダーを販売します。



パネル展

2017年8月24日(木)・25日(金)11:00-19:00

品川シーズンテラス 2F アトリウム

「3.11から6年～被災地の今」
新聞紙面提供：(株)河北新報社
宮城県仙台市『河北新報』の今年の3月11日を含む3日間の新聞記事の展示を通して、被災地の今をお伝えします。未だ復興半ばの被災地の課題を知っていただき、震災から6年が経過した今だからこそ、あらためて「これからできること」を考えるきっかけやヒントにして頂ければと思います。

「被災地における丹青社のアクション」

丹青社のノウハウや経験を活かしたアクションが小さなきっかけとなり、生まれた空間やコトをご紹介します。当社は記憶を伝え、課題に対峙し、新しい地域の価値を創るため被災地の方々と共に取り組んできました。これからも情熱と創造力をもって、社会やお客さまの課題解決をめざしてまいります。

シンポジウム

「いまこそ考える！東北復興のためにできること～交流人口の拡大に向けたアクション～」

2017年8月25日(金)13:00-15:30 (参加無料/事前申込制)

品川シーズンテラス アネックス3Fホール

被災地の大きなテーマのひとつである「交流人口の拡大」について考えるシンポジウム「いまこそ考える！東北復興のためにできること～交流人口の拡大に向けたアクション～」をおこないます。未来に活かすアクションを皆さまと共に考えます。

【パネリスト】



隈 研吾 氏
(隈研吾建築都市設計事務所 主宰)



間庭 典之 氏
(復興庁統括官付参事官)



滝澤 肇 氏
(岩手県宮古市 総務部長)



松沼 彩子 氏
(アサヒグループホールディングス(株) CSR部 マネージャー)



大滝 精一 氏
(東北大学大学院 経済学研究科 教授)

【ファシリテーター】

お問合せ先 東北復興イベント事務局 (tohokufukko@tanseisha.co.jp)